

※今月のみ受注の書目です。

ヨーロッパ政治 ご担当者さま

イギリスの戦後ヨーロッパ構想 とフランスの再興

大陸と大西洋のはざままで

(2023年7月中旬刊行予定)

中村優介 (千葉商科大学国際教養学部助教) [著]

A5判上製 / 332頁 税込予価 5,500円 ISBN978-4-7664-2904-6 C3031

📖 ココに注目!

- ・第二次世界大戦後の「フランスの再興」に大きな役割を果たしたイギリス。
- ・イギリス国内の政治過程を分析し、その巧みな外交力の裏づけを探る。

1940年6月、フランスは大国としての地位を失ったが、その後の再興において重要な役割を果たしたのがイギリスであった。アメリカやソ連はドイツにわずか6週間で敗れたフランスを軽蔑したが、イギリスは巧みな外交手腕を使い米ソにフランスの再興を認めさせたのである。フランス支持へと舵を切るまでのイギリス外務省内の合意形成、またアメリカを説得するまでの外務省内の政策決定過程を分析し、巧みな外交力の裏づけを検証する一冊。

対象 ヨーロッパ政治 / 現代史の研究者もしくは大学院生

類書 宮下雄一郎『フランス再興と国際秩序の構想』(勁草書房)

【営業部からのおすすめポイント】

第二次世界大戦後を対象とする先行研究では英米関係に焦点を当てたものが多いですが、本書ではイギリス国内における政治過程を丁寧に検証しているのが特長です。軍事力や経済力では米ソに劣りながら、外交の力で戦後秩序の構築に貢献したイギリスに学ぶべきことは大きいのではないかと思います。 (福本)

📖 **主要目次、注文書を裏面に掲載! ぜひご確認ください!**

【主要目次】

序 章 イギリスと戦後ヨーロッパ

第 1 章 フランスの崩壊とイギリス外交の転換、1940 年

第 2 章 対「フランス」政策をめぐるチャーチルと外務省の対立、1940 年

第 3 章 外務省における対「フランス」政策の転換、1941 年

第 4 章 対「フランス」政策をめぐるアメリカとの対立、1941～43 年

第 5 章 フランスの再興へ向けたイギリス外交、1943～45 年

終 章 大陸と大西洋の狭間で

 **ご注文は FAX で！ 03 - 3451 - 3124** 

番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		中村優介 著 イギリスの戦後ヨーロッパ構想と フランスの再興 —大陸と大西洋のはざままで ISBN978-4-7664-2904-6 C3031	5,500 円	★★